

EZ-WIN競馬予想新聞				24.1.6 (土) 中山11R G3中山金杯 芝2000m内C 4歳上ハンデ 15:45														指数					
間隔	総合評価点数	予想印	馬番	馬名	性齢	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	中山/前走/体重評価	マイニング	対戦型
3	11		1	美)キタウイング	牝4	53	17	C				13,12	17,6	11,5	2	38	3	杉原誠	小島茂	WR		8	10
15	28		2	美)アラタ	牡7	58	5	A			B	9,6	12,6	4,2	16	78	9	横山和	和田勇	R		5	7
5	70	○	3	栗)リカンカブール	牡5	56	9	A	△		B	13,2	12,1	7,2	25	159	5	津村明	田中克		注	4	8
5	58		4	美)エピファニー	牡5	57	3	A			B	9,2	6,1	4,11	25	94	23	R. ビ	宮田敬	枠		16	1
4	33	×	5	美)マイネルファンロン	牡9	56	15		注		B	15,2	JP	JP	11	467	4	丸山元	手塚貴		B/体	14	17
3	21	×	6	美)クリノプレミアム	牝7	56	10		注			10,7	5,8	8,13	13	97	9	松岡正	伊藤伸	枠	R/体	15	12
8	41	×	7	美)ククナ	牝6	54	6	B			B	11,8	8,6	3,3	16	78	9	戸崎圭	栗田徹	WR		2	3
4	37	◎	8	美)ポーンディスウェイ	牡5	55	1	A	△		B	3,13	6,9	8,10	35	82	35	木幡巧	牧光二		B/体	10	5
21	57		9	美)サクラトージュール	牡7	57	7	A				16,1	5,1	14,10	20	78	9	R. キ	堀宣行	TR	B	17	6
5	49		10	栗)マテンロウレオ	牡5	59	2	B			B	7,5	5,7	9,14	37	114	23	横山典	昆貢	枠	体重	3	15
33	37	▲	11	美)ゴールデンハインド	牝4	54	8	A	注		B	5,15	1,7	4,8	11	97	9	菅原明	武市康	展	B/体	13	11
2	18	☆	12	栗)ホウオウアマゾン	牡6	58	13		注			7,14	5,14	海外	16	78	9	横山武	矢作芳			7	4
8	18		13	栗)カテドラル	牡8	59	14		注			11,9	13,7	15,12	3	31	3	荻野極	池添学		体重	9	14
4	26		14	栗)カレンシュトラウス	牡7	56	16				B	7,7	9,3	12,5	4	90	3	藤懸貴	平田	展		6	16
7	73	×	15	美)マイネルクリソーラ	牡5	55	4	A			A	5,4	14,1	11,1	25	94	23	M. デ	中野栄			1	2
4	36	★	16	美)サトノエルドール	牡8	56	11		△		B	11,3	5,6	13,2	10	67	5	三浦皇	国枝栄		A	11	13
12	33		17	美)エミュー	牝4	54	12	A				18,3	10,5	17,12	10	75	5	佐々木	和田正	展		12	9

【レースの傾向】

ハーツクライ、ステイゴールド系、キングカメハメハと言ったスタミナ型のサンデー系種牡馬や、中距離タイプのキングマンボ系種牡馬の産駒が走るレース。

基本的に持続ラップになるレースなので、上りの速さは求められず、むしろ上り3Fが35秒以上掛かるようなレースで実績を残しているタイプが買うべき馬になります。

また、中山実績も重要なファクターで、血統傾向に該当していなくても、中山巧者は普通に走る可能性が高いレースでもあります。

あと、前走馬体重が、480キロから498キロだった馬が好走ゾーンになっており、過去10年の3着以内馬30頭の内、16頭が該当しております。

【予想見解】

◎8番ボーンディスウェイ
父:ハーツクライ

母父:独ハンプトン系

祖母父:ブラッシンググルーム系

同コースのG2弥生賞で、アスクビクターモア
ドウデュースに0秒1差3着の実績を持っております。

1800mからの1F延長ローテで臨む2000m戦は
2戦2勝であり、中山2000mは6戦して2勝、2着1回
3着1回のコース巧者でもあります。

好位からしぶとく粘るタイプで、上り時計が掛かる展開を好みます。

前走3勝クラスからの昇級戦ではありますが、
弥生賞の実績と、ハンデの軽さを考えると、
本命にふさわしい存在でありましょう。

★16番サトノエルドール

父:ディーピンパクト

母父:欧ヌレイエフ系

祖母父:欧ノーザンダンサー系

母の従姉妹にJCをレコード勝ちしたアルカセット(英国馬)

ディープ産駒に相性が悪いレースですが、
本馬の場合は英国牝系が母体であるため
スパッと切れる脚は持っておらず、いわゆる
「鈍足ディープ」に分類されるタイプになります。

そのため、無類のコース巧者で、
中山2000mは5戦して着外なし。
なのに何故か2021年春以来18戦ぶりの得意コース。

前走の中日新聞杯では、直線でゴチャつき、
前をカットされる大きな不利を受けながらも
0秒3差の惜しい競馬で見せ場は十分にありました。

鞍上の強化と、得意コースへの舞台替わりで
世間をアッ！と言わせて頂きましょう。

☆12番ハウオウアマゾン

父:キングカメハメハ

母父:アグネスタキオン(Pサンデー系)

祖母父:APインディ系

母の半兄にカレンミロティック

(金鯱賞1着・宝塚2着・春天2着)

特別登録の段階では、京都金杯との
両にらみとなるW登録をしておりましたが、
初距離となるこちらに出て参りました。

体型や脚質は、母ヒカルアマランサスよりも
叔父のカレンミロティックに似通っており、
距離を2000mに伸ばすことで変わり身を
見せる可能性があるのではと妄想中。

○11番ゴールデンハインド

父:ゴールドシップ(ステイゴールド系)

母父シャマーダル(欧ストームバード系)

祖母父:ゴーンウエスト(米ミスプロ系)

昨年の2着馬クリノプレミアムと同系統の配合。

牝系ファミリーには2000mのG1馬が2頭。

ゴールドシップ産駒ですが、距離は2000mがベストな

牝系ファミリーの適性を受け継いでいると思われ、

前走オックスは距離が敗因だと決めつけます。

牝馬が馬券になっていない(昨年のクリノプレミアムのみ)

レースではありますが、血統、馬格、中山実績を考えれば
これ以上、印を下げる訳には参りません。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券
馬連・ワイド・3連複3頭ボックス
3番・4番・15番

くまもん馬券
複勝 12番・16番

馬連・ワイド4頭ボックス
8番・11番・12番・16番

3連複フォーメーション21点
8-11・12・16-印全頭